



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	65,142	11.7	7,572	138.5	7,672	133.0	4,722	138.1
2020年3月期第1四半期	58,318	△1.0	3,175	4.3	3,292	4.2	1,982	22.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	165.33	—
2020年3月期第1四半期	69.42	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	232,047	146,492	63.1	5,128.79
2020年3月期	221,037	142,324	64.4	4,982.87

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 146,492百万円 2020年3月期 142,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	121,235	4.8	9,434	75.3	9,687	71.5	5,799	76.8	203.02
通期	223,235	2.5	12,434	49.4	12,987	44.9	7,499	51.7	262.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2020年7月31日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	29,784,400株	2020年3月期	29,784,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,221,706株	2020年3月期	1,221,670株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	28,562,694株	2020年3月期1Q	28,562,806株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
3. 補足情報	7
(1) 商品部門別販売の状況	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日)におけるわが国経済は、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症の影響により、景気の急速な悪化が進み、非常に厳しい状況にあります。

家具・ホームセンター業界におきましては、業種・業態を超えた競争の激化や高齢化・人口減少によるマーケットの縮小など、依然として厳しい経営環境となっておりますが、一方で、新型コロナウイルス感染対策商材や外出自粛に伴う需要が下支えをする状況にあります。

このような状況の中で当社は、お客様と従業員の安全と健康を確保することを最優先し、最大限の感染防止対策を講じながら、社会的な要請に十二分にお応えするべく営業を継続してまいりました。

営業の概況としましては、マスクやアルコール除菌商材をはじめ新型コロナウイルス感染対策商材が好調に推移していた中、当会計年度がスタートした直後の緊急事態宣言により外出自粛や巣ごもり消費といった消費行動の変化により、収納用品やデスクチェア、ペイントや木材などのDIY用品などが好調に推移しました。また、当社の主力部門である園芸用品は、ガーデニング商材や除草・防草商材を中心に好調に推移しました。売上総利益については、強化を継続しているPB商品の構成比の高まりや広告自粛による値下げ減少などにより、改善いたしました。販売費及び一般管理費については、コロナ禍の中で感染防止対策を十二分に講じる一方で、集客に関わる施策を一時的に中止し「3密」の状態を作らないように店舗で努めたことにより、広告宣伝費及びポイント関連費用が減少いたしました。

また、新規出店については、1店舗の新設となり、当第1四半期会計期間末における店舗数は34府県にわたり359店舗となりました。

これらの結果、売上高は651億42百万円(前年同期比11.7%増)、営業利益は75億72百万円(前年同期比138.5%増)、経常利益は76億72百万円(前年同期比133.0%増)、四半期純利益は47億22百万円(前年同期比138.1%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、外出自粛要請に伴いガーデニングやDIYの需要が高まったこともあり、園芸用品や木材、ペイントなどが好調に推移しました。その結果、売上高は310億63百万円(前年同期比14.9%増)、売上総利益111億75百万円(前年同期比20.3%増)、売上総利益率は36.0%となっております。

「生活用品」は、マスクやアルコール除菌商材をはじめとした新型コロナウイルス感染対策商材が好調に推移しました。また、気温の上昇に伴い扇風機などの冷房用品も好調に推移しました。その結果、売上高は172億6百万円(前年同期比13.4%増)、売上総利益50億4百万円(前年同期比23.7%増)、売上総利益率は29.1%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、在宅勤務や巣ごもり需要により、収納用品やデスクチェアが好調に推移しました。その結果、売上高は116億28百万円(前年同期比4.9%増)、売上総利益47億77百万円(前年同期比8.8%増)、売上総利益率は41.1%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品など所謂エンジョイ系の商品群ですが、除菌意識の高まりもあり、車用の消臭除菌剤などが好調に推移しました。その結果、売上高は52億44百万円(前年同期比4.7%増)、売上総利益16億41百万円(前年同期比14.1%増)、売上総利益率は31.3%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の資産合計は、2,320億47百万円となり、前事業年度末と比較して110億10百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、977億14百万円（前事業年度末比119億76百万円増）となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比117億68百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,343億32百万円（前事業年度末比9億65百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比8億19百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、729億8百万円（前事業年度末比79億68百万円増）となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比63億94百万円増）、未払金の増加（前事業年度末比9億61百万円増）などによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、126億47百万円（前事業年度末比11億26百万円減）となりました。減少の主な要因は、役員退職慰労引当金の減少（前事業年度末比6億80百万円減）、長期借入金の減少（前事業年度末比3億74百万円減）などによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、1,464億92百万円（前事業年度末比41億67百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比41億51百万円増）などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ、また新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、2020年5月8日に公表した2021年3月期決算短信の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2020年7月31日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,190	35,959
売掛金	2,952	3,273
商品	57,068	56,807
その他	1,528	1,678
貸倒引当金	△2	△5
流動資産合計	85,738	97,714
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,700	68,088
土地	48,580	48,580
建設仮勘定	239	211
その他(純額)	3,781	3,601
有形固定資産合計	121,301	120,482
無形固定資産	3,059	3,073
投資その他の資産	10,937	10,776
固定資産合計	135,298	134,332
資産合計	221,037	232,047
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,116	34,511
短期借入金	20,905	20,740
1年内返済予定の長期借入金	1,496	1,496
未払法人税等	2,237	3,072
未払金	3,904	4,865
設備関係支払手形	2,112	2,182
賞与引当金	1,003	504
役員賞与引当金	28	—
ポイント引当金	1,179	1,101
資産除去債務	119	26
その他	3,837	4,406
流動負債合計	64,939	72,908
固定負債		
長期借入金	1,793	1,419
退職給付引当金	3,148	3,134
役員退職慰労引当金	1,028	348
資産除去債務	5,620	5,625
その他	2,181	2,119
固定負債合計	13,773	12,647
負債合計	78,713	85,555

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	136,853	141,004
自己株式	△2,350	△2,350
株主資本合計	142,263	146,415
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	77
評価・換算差額等合計	60	77
純資産合計	142,324	146,492
負債純資産合計	221,037	232,047

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	58,318	65,142
売上原価	39,147	42,542
売上総利益	19,171	22,599
販売費及び一般管理費	15,996	15,027
営業利益	3,175	7,572
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
受取手数料	42	45
受取家賃	114	126
受取保険金	9	14
その他	34	9
営業外収益合計	208	203
営業外費用		
支払利息	35	31
不動産賃貸原価	44	47
その他	10	25
営業外費用合計	90	103
経常利益	3,292	7,672
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産除却損	34	18
減損損失	8	—
賃貸借契約解約損	28	—
その他	0	—
特別損失合計	71	18
税引前四半期純利益	3,224	7,653
法人税等	1,241	2,931
四半期純利益	1,982	4,722

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	27,045	46.4	31,063	47.7	114.9
生活用品	15,173	26.0	17,206	26.4	113.4
家具・ホームファッション用品	11,089	19.0	11,628	17.9	104.9
その他	5,010	8.6	5,244	8.0	104.7
計	58,318	100.0	65,142	100.0	111.7

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他